

—追 悼—

清水喜八郎先生の思い出

清水喜八郎先生は本年お亡くなりになりました。わたしは先生の最後の弟子と勝手ながら思っております。

清水先生には東京女子医大でお世話になりました。私は感染症、特に熱帯医学を志しておりましたが、研修医1年上の菊池賢、現東京女子医大教授から“感染症やるなら”とご紹介いただきました。

当時米国から侵入したMRSAが話題になりつつあるところで、まず薬剤感受性試験を学びました。当時の東大病院手術部長の小林寛伊先生を紹介され、東大病院の微生物検査室に寒天平板希釈法などを学びに行きました。当時は奥住捷子先生が細菌検査を担当されており、ありがたいことにじきじきお教えいただきました。奥住先生には今でも“先生のおむつ変えたのは私だから”といわれ頭が上がりません。

清水先生はその幅広い人脈から、製薬企業の研究所数社に伺い実験方法を学ぶ機会を私にお与えくださいました。また清水先生は当時では先駆的なICT業務を開始され、菊池先生とともにコンサルテーションや病棟回診を始めた思い出があります。布タオルから今では当たりまえのペーパータオルへの移行もできました。

また清水先生は検査技師にもっと活躍できる場と日本臨床微生物学会を、もっと幅広く臨床医が寄生虫の参加できる場と日本臨床寄生虫学会を、看護師にも学問としての感染制御の発表の場をと日本環境感染学会の設立に努力されました。

当時キャンピロバクターと呼ばれていたヘリコバクターピロリについても、病原性がまだ認められる以前であったものの、研究を行う機会をいただき、おかげさまで学位を取得させていただきました。また、熱帯医学を志していた私に英国リバプール熱帯医学校への留学を後押しいただき、英国、ケニアでの貴重な経験をする機会を得ることができました。現在の私の存在は清水先生のお力なくてはなりません。リバプールでの大学院の試験は難しく音を上げそうになって清水先生に相談したところ“おめーなんか落ちちまえ！なんも変わらないよ！”といわれ気が吹っ切れて合格し Master of Tropical Medicine を取得できました。

英国へは2度ほど来られましたがリバプールで最も伝統的な Britania Adelphi ホテルに宿泊いただきました。伝統的過ぎたのか“朝飯に壁土食わされたぞ！”とおっしゃっていました。おそらくブラックプディングのことと思います。豚の腸に油と豚の血を詰めた料理だったと思います。ロンドンでは三越でお寿司を500ポンド分ごちそうになりました。また別の機会に“どっか面白そうな国を案内しろ！”と言われルーマニアを選びました。“学会で来ることないからいいな”とおっしゃっていました。ルーマニアではブラショフ近郊のドラキュラ城に行った思い出があります。

4年の留学から帰国するころには清水先生は定年となられていましたが、その後の進路でも非常にお世話になりました。毎年のように女子医大時代の清水先生の部屋にいた先生方で「清水先生の会」を行っていましたが、ここ数年はコロナ禍で開催できていませんでした。豪快で繊細で慈愛のある清水先生の会をまたみんなで開催できればと考えております。

清水先生！ありがとうございました！



略 歴

【学歴・職歴】

1952 年 東京大学医学部卒業
1959 年 医学博士
東京大学医学部附属病院勤務を経て
1974 年 筑波大学助教授
1977 年 東京女子医科大学教授
1993 年 同大学退官後、聖マリアンナ医科大学、東京医科大学、北里大学 客員教授

【役職など】

- ・日本臨床微生物学会（理事長，名誉会員）
- ・日本化学療法学会（理事長，名誉会員）
- ・日本感染症学会（理事長，名誉会員）
- ・日本環境感染学会（理事長，名誉会員）
- ・日本抗生物質学術協議会（理事長）
- ・厚生省中央薬事審議会（委員），厚生省院内感染対策専門家会議（委員）
- ・日本学術会議免疫・感染症研究連絡委員会（委員長）

【学会での経歴】

本学会入会日 1986 年 2 月 1 日
評議員 1986 年 2 月 1 日～
理事 1986 年 2 月 1 日～1992 年 2 月 7 日
理事長 1992 年 2 月 8 日～1996 年 2 月 16 日
第 2 回日本環境感染学会総会会長 1987 年 2 月

【受賞歴】

1993 年 日本化学療法学会 志賀潔・秦佐八郎記念賞
1994 年 日本医師会優功賞
1998 年 日本医師会最高優功賞

【主な著書】

- ・新・抗生物質の使い方：清水喜八郎・紺野昌俊共著（医学書院）
- ・抗菌薬療法診療のてびき：清水喜八郎監修・編集（厚生労働省・日本医師会編 日本醫事新報社）
- ・感染症の診断・治療ガイドライン：清水喜八郎監修・編集（日本医師会）
- ・院内感染対策テキスト：清水喜八郎編集（へるす出版）
- ・ビジュアル抗菌薬治療マニュアル：清水喜八郎・山口恵三編集（日本臨牀社）
- ・TDM 物語：清水喜八郎監修（国際医学出版）
- ・日本学術会議 50 年史：清水喜八郎編集委員（日本学術協力財団）

春木 宏介

（獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部主任教授・感染制御部部长
〃 附属越谷クリニック渡航外来部門長）